

## 令和2年第1回定例会（第3号）

令和2年3月18日（水曜日）午前10時00分開会

### ○議事日程

- 日程第 1 会議録署名議員の指名  
日程第 2 議案第 1号 令和2年度七飯町一般会計予算  
日程第 3 議案第 2号 令和2年度七飯町国民健康保険特別会計予算  
日程第 4 議案第 3号 令和2年度七飯町後期高齢者医療特別会計予算  
日程第 5 議案第 4号 令和2年度七飯町介護保険特別会計予算  
日程第 6 議案第 5号 令和2年度七飯町土地造成事業特別会計予算  
日程第 7 議案第 6号 令和2年度七飯町水道事業会計予算  
日程第 8 議案第 7号 令和2年度七飯町下水道事業会計予算

### ○出席議員（17名）

議 長	18番	木 下 敏	副 議 長	17番	青 山 金 助
	1番	横 田 有 一		2番	神 崎 和 枝
	3番	平 松 俊 一		4番	池 田 誠 悦
	6番	稲 垣 明 美		7番	畑 中 静 一
	8番	長谷川 生 人		9番	上 野 武 彦
	10番	坂 本 繁		11番	澤 出 明 宏
	12番	中 島 勝 也		13番	川 村 主 税
	14番	中 川 友 規		15番	若 山 雅 行
	16番	川 上 弘 一			

### ○欠席議員（1名）

5番 田 村 敏 郎

### ○地方自治法第121条の規定により本会議に出席を求めた説明員

町 長 中 宮 安 一

### ○町長の委任を受けたもので出席を求めた説明員

副 町 長	宮 田 東	総 務 部 長	鈞 谷 隆 士
民 生 部 長	杉 原 太	経 済 部 長	青 山 芳 弘
総務部総務財政課長	倍 楼 司	総務部情報防災課長	若 山 みつる
総務部政策推進課長	中 村 雄 司	総務部税務課長	広 部 美 幸
会計課長兼経済部水道課参事	青 山 栄久雄	民生部住民課長	清 野 真 里
民生部環境生活課長	磯 場 嘉 和	民生部福祉課長	村 山 德 收
民生部子育て健康支援課長	岩 上 剛	経済部商工観光課長	福 川 晃 也
経済部農林水産課長	川 島 篤 実	経済部土木課長	佐々木 陵 二
経済部都市住宅課長	寺 谷 光 司	経済部水道課長	笠 原 泰 之

---

○地方自治法第121条の規定により本会議に出席を求めた説明員

教 育 長 與 田 敏 樹

---

○教育長の委任を受けたもので出席を求めた説明員

教 育 次 長	扇 田 誠	学 校 教 育 課 長	竹 内 圭 介
生 涯 教 育 課 長	北 村 公 志	学 校 給 食 セ ン タ ー 長	柴 田 憲
ス ポ ー ツ 振 興 課 長	川 崎 元		

---

○農業委員会会長の委任を受けたもので出席を求めた説明員

事 務 局 長 田 中 正 彦

---

○本会議の書記

事 務 局 長	関 口 順 子	書 記	妹 尾 洋 兵
書 記	佐々木 宏美		

---

○会議規則第116条の規定により指名された会議録署名議員

16番 川 上 弘 一

17番 青 山 金 助

午前10時00分 開会

---

開 議 宣 告

---

○議長（木下 敏） ただいまから、令和2年第1回七飯町議会定例会の本日の会議を開きます。

田村敏郎議員から、本日の会議を欠席する届け出がありました。

---

日程第1

会議録署名議員の指名

---

○議長（木下 敏） 日程第1 会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員として、

16番 川上 弘 一 議員

17番 青山 金 助 議員

以上、2議員を指名いたします。

---

日程第2

議案第1号 令和2年度七飯町一般会計  
予算

日程第3

議案第2号 令和2年度七飯町国民健康  
保険特別会計予算

日程第4

議案第3号 令和2年度七飯町後期高齢  
者医療特別会計予算

日程第5

議案第4号 令和2年度七飯町介護保険  
特別会計予算

日程第6

議案第5号 令和2年度七飯町土地造成  
事業特別会計予算

日程第7

議案第6号 令和2年度七飯町水道事業  
会計予算

日程第8

議案第7号 令和2年度七飯町下水道事  
業会計予算

---

○議長（木下 敏） 日程第2 議案第1号令和

2年度七飯町一般会計予算、日程第3 議案第2号令和2年度七飯町国民健康保険特別会計予算、日程第4 議案第3号令和2年度七飯町後期高齢者医療特別会計予算、日程第5 議案第4号令和2年度七飯町介護保険特別会計予算、日程第6 議案第5号令和2年度七飯町土地造成事業特別会計予算、日程第7 議案第6号令和2年度七飯町水道事業会計予算、日程第8 議案第7号令和2年度七飯町下水道事業会計予算、以上7件、すなわち令和2年度七飯町一般会計予算、各特別会計予算及び各企業会計予算を一括して議題といたします。

なお、この後、令和2年度予算審査特別委員会の設置が予定されていることから、詳細な提案説明及び質疑は省略し、議案第1号から議案第7号までの令和2年度一般会計予算、各特別会計予算及び各企業会計予算の総括説明と総括質疑にとどめますことを御承知お願いいたします。

それでは、議案第1号から議案第7号までの総括説明を求めます。

総務財政課長。

○総務財政課長（倍楼 司） それでは、令和2年度一般会計、各特別会計並びに水道事業会計、下水道事業会計の当初予算総括について御説明を申し上げます。

あらかじめお配りしております令和2年度当初予算説明資料に基づき御説明を申し上げます。

1ページをお開き願います。

令和2年度の一般会計及び4特別会計並びに水道事業会計と今年度より新たに事業会計となる下水道事業会計の状況でございます。

前年度の当初予算額、平成30年度歳出決算額との比較を行っておりますので、ごらんいただきたいと思っております。

令和2年度の当初予算額は、一般会計が120億円で、前年度と比べ比較例増減額、①=A-Bの欄になりますが、13億2,000万円の増。一つ飛ばしまして、前年度当初予算との対比は12.4%の増でございます。

次に、特別会計ですが、国民健康保険特別会計は33億3,000万円で、前年度と比べ9,000万円、2.6%の減となっております。

後期高齢者医療特別会計は4億3,750万円で、前年度と比べ1,600万円、3.8%の増で  
ございます。

介護保険特別会計は28億7,800万円で、  
前年度と比べ5,200万円、1.8%の増でござ  
います。

土地造成事業特別会計は100万円で、前年度  
との増減はございません。

4特別会計合計で66億4,650万円、前年  
度と比べ2,200万円、0.3%の減となつてお  
ります。

次に、企業会計となる水道事業会計ですが、収  
益的収入は5億2,080万円、前年度と比べ1,  
020万円、1.9%の減でございます。収益的  
支出は4億5,230万円、前年度と比べ2,67  
0万円、5.6%の減となっております。資本的  
収入は2億7,990万円、前年度と比べ6,69  
0万円、31.4%の増となっております。資本  
的支出は4億5,850万円、前年度と比べ6,4  
50万円、16.4%の増となっております。

次に、下水道事業会計ですが、令和2年度から  
企業会計として計上しておりますが、令和元年度  
の予算においては、企業会計予算への置き換え数  
値を参考として記載をしております。収益的収  
入は8億7,840万円、前年度と比べ1億7,1  
14万5,000円、24.2%の増でございま  
す。収益的支出は7億4,500万円、前年度と  
比べ4億276万5,000円、117.7%の増  
となっております。資本的収入は1億4,320  
万円、前年度と比べ5,154万5,000円、2  
6.5%の減となっております。資本的支出は4  
億8,460万円、前年度と比べ7,516万5,  
000円、13.4%の減となっております。

次に、2ページでございます。

左上段の①が、一般会計当初予算額及び決算額  
の推移で、平成28年度から令和2年度までの状  
況をグラフと表であらわしております。また、下  
段には、令和2年度一般会計当初予算の歳入財源  
構成比、歳出目的別構成比及び歳出性質別構成比  
の状況を円グラフで示しております。

次に3ページには、令和2年度一般会計当初予  
算の歳入歳出の状況でございます。

(1)の歳入でございますが、令和2年度当初予  
算の1款町税から21款町債までの合計120億  
円の款別の内訳でございます。

令和2年度当初予算額、令和元年度当初予算額  
及び平成30年度歳入決算額をのせ、比較をして  
ございます。

主な項目について説明いたしますが、表の中  
央、比較増減額の前年度予算との比較(①=A-  
B欄)及び一つ飛ばして、前年度との対比(B分の  
①×100)の欄を順にごらん願いたいと思いま  
す。

1款町税は、前年度に比べ4,324万6,00  
0円、1.4%の減でございます。主たる増減の  
要因として、町民税では個人分は536万2,0  
00円、0.5%増の見込みですが、法人分は2,  
268万2,000円、12.4%の減。固定資産  
税の土地、家屋、償却資産では、前年度に比べ  
4,401万2,000円、2.7%の減となるほ  
か、軽自動車税で税制改正により名称変更とな  
った種別割と、昨年10月からの課税項目となり  
ました環境性能割を合わせて1,901万6,000  
円、25.2%の増を見込んでございます。

2款地方譲与税から9款地方特例交付金まで  
は、地方財政計画等を参考に計上しております  
が、令和元年度予算からの変更としましては、3  
款利子割等交付金は、配当割交付金を統合し95  
0万円を見込むほか、5款法人事業税交付金は令  
和2年度からの新たな項目として1,200万円  
を計上してございます。

10款地方交付税は、前年度に比べ1億円、  
3.1%の増でございます。地方財政計画及び基  
準財政需要額と基準財政収入額を試算しての計上  
でございますが、国の予算動向などにより交付税  
措置につきましては、極めて流動的で不透明な要  
素が多いところでございます。

12款分担金及び負担金は、新たに戸籍システ  
ム共同利用事業委託分担金を計上してございま  
すが、前年度に比べ2,930万8,000円、1  
6.6%の減となっております。

13款使用料及び手数料は、前年度に比べ20  
4万9,000円の減でございます。

14款国庫支出金は、児童福祉費負担金、道路

橋りょう費負担金及び住宅費補助金等が増となったことから、前年度に比べ2億4,624万4,000円、19%の増でございます。

15款道支出金は、農林水産業費同補助金などの増で、前年度に比べ2億3,099万2,000円、25.8%の増でございます。

16款財産収入は、令和元年度限りであった函館空港ビルディングの株式譲渡収入が無くなることから、前年度に比べ867万円、18%の減でございます。

17款寄附金は、総務費寄附金、ふるさと納税などで前年度同様の予算規模となっております。

18款繰入金は、前年度同様繰り入れをしないことから、新年度当初予算は項目出しの1,000円としてございます。

20款諸収入は、雑入で重度心身障害者高額療養費退職手当組合前年納付金の精算還付金などの減により、前年度に比べ5,232万1,000円、24.2%の減でございます。

21款町債は、防災行政無線の整備のため、災害対策等整備事業債、道路橋りょう債などの増により、前年度に比べ8億540万円、106%の増でございます。

(2)の歳出につきましても、令和2年度当初予算の1款議会費から14款予備費までの合計120億円の款別の内訳でございます。令和2年度当初予算額、令和元年度当初予算額及び平成30年度決算額をのせ、比較をしております。各項目について、前年度当初予算との比較を中心に説明を申し上げます。

1款議会費は、前年度比323万1,000円、3.2%の増でございます。本会議場設備機器等譲渡取得費の債務負担分の増が主なものとなっております。

2款総務費は、前年度比3,183万3,000円、6.8%の減となっております。昨年執行されました北海道知事・道議選挙執行費の減、新年度の会計年度任用職員の経費を会計年度任用職員給与費としてまとめて事業予算とし、各事業予算から非常勤職員の経費を移行したことによる減となっております。

3款民生費は、前年度比2,098万9,000円、0.5%の減でございます。大中山複合施設事業費等の減などによるものでございます。

4款衛生費は、前年度比442万9,000円、0.5%の減でございます。会計年度任用職員の経費を13款職員費にまとめたことによる減などがございます。

5款労働費は、前年度と同額となっております。

6款農林水産業費は、前年度比1億7,004万3,000円、110.8%の増でございます。農業支援対策費で、13款所得向上支援事業補助金の増などが主なものとなっております。

7款商工費は、前年度比2,687万5,000円、14.3%の減でございます。企業誘致推進費の減が主なものとなっております。

8款土木費は、前年度比1億8,708万円、21.5%の増でございます。社会資本整備総合交付金事業費、これは峠下2号線の改良事業などがございますが、その増が主なものとなっております。

9款消防費は、前年度比8億3,378万8,000円、137.2%の増でございます。防災行政無線の整備に伴う防災行政無線整備管理費の増が主なものとなっております。

10款教育費は、前年度比1億1,347万7,000円、12.9%の減でございます。スクールバス運行費、教育住宅管理費などが増をしておりますが、終了した大中山小学校改良事業の減等が主なものとなっております。

11款災害復旧費は、前年度と同額となっております。

12款公債費は、前年度比1億573万7,000円、8.6%の増でございます。元金で1億1,107万2,000円の増、利子で533万5,000円の減となっております。

13款職員費は、前年度比2億1,772万4,000円、16.7%の増でございます。前年度まで、各事業予算としておりました臨時職員の賃金等を会計年度任用職員給与費として一括したことによる増となっております。

次に、4ページ及び5ページをごらんいただき

たいと思います。

一般会計当初予算の歳入歳出を性質別経費に振りわけた状況を示すものでございます。

4ページは、歳入の状況で、科目ごとに臨時的収入と経常的収入、さらにそれぞれを一般財源と特定財源に振りわけた表となっております。5ページは、歳出の状況で、人件費から予備費までを性質別に振りわけてございます。

義務的経費の1の人件費は約17億円で、前年度に比べ2億6,000万円ほど、18%の増。これは会計年度任用職員給与費が、前年度の物件費から人件費になることからの増となっております。2の物件費は約12億円で、前年度に比べ2億2,000万円ほど、15.6%の減。5の補助費等は約12億4,300万円、前年度に比べ2,100万円ほど、1.7%の減。6の公債費は約13億3,200万円、前年度に比べ1億573万円ほど、8.6%の増。7の積立金は約55万円ほど、10.3%の増でございます。

一方、投資的経費でございますが、約19億4,300万円、前年度に比べ12億2,000万円ほど、168.6%の増でございます。経常収支比率は92.6%で、前年度に比べ1.2ポイント減となっておりますが、経常収支比率が上がることはないよう、引き続き事業執行に努めたいと考えているところでございます。

次に、6ページから7ページまででございます。

一般会計予算歳出の性質別経費のうち、投資的経費の状況の内訳を記載したものでございます。

主なものとしては、民生費では、総合保健福祉計画策定委託料として700万円。農林水産業費では、13款所得向上支援事業補助金で2億円。土木費では、飯田町8号線改良事業で7,000万円。峠下2号線改良事業で1億9,600万円。橋りょう長寿命化事業で8,200万円。新道川環境整備工事で3,000万円。冬トピア団地長寿命化事業で1億7,038万円。消防費では、防災行政無線整備等事業委託料8億2,620万円。教育費では、軍川小学校及び大沼小学校体育館解体工事で8,677万2,000円などとなっております。

次に、8ページから9ページまででございますが、一般会計予算歳出の性質別経費のうち、補助費等の状況を内訳として記載したものでございますので、後ほどごらん願いたいと思います。

次に、10ページになります。

一般会計予算歳出の性質別経費のうち、扶助費繰出金の内訳となっており、前年度予算額との対比を行っております。

次に、11ページになりますが、一般会計の町債発行額、現在高の状況でございます。

一般会計の新年度発行予算額は、E欄の合計17億1,810万円で、前年度発行見込額B欄の13億4,520万円と比べて、3億7,290万円ほど、約27.7%の増でございます。増となる主な要因としては、防災行政無線の整備に係るものでございます。また、地方の財源不足を補うために発行が認められている臨時財政対策債は、前年度よりも710万円減の3億10万円を発行するものでございます。

次に、12ページは、一般会計における基金積立金繰入金の状況でございます。

令和元年度の各基金の支消見込みの内訳については、表の左側に記載しております。右側の令和2年度につきましては、財政調整基金の項目出し分1,000円となっております。各年度末の現在高等については、記載のとおりでございます。

13ページは、平成28年度から令和元年度までの決算及び決算見込み額の推移と令和2年度の当初予算の状況を記載してございます。

最後に14ページが、各種財政指標等の推移となっております。

以上、簡単でございますが、令和2年度当初予算説明資料からの総括説明とさせていただきます。

**○議長（木下 敏）** 以上で、総括説明を終わります。

これより、議案第1号から議案第7号までの総括質疑を許します。

なお、詳細な質疑については、先ほども申し上げましたが、この後、令和2年度予算審査特別委員会の設置が予定されていることから、質疑は財

政にかかわる総括的で一般的な事項といたします。

質疑を許します。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(木下 敏) 以上で、総括質疑を終わります。

お諮りいたします。

ただいま一括議題となっております7件の案件、令和2年度七飯町一般会計予算、各特別会計予算及び各企業会計予算については、慎重審議の必要性があると認められることから、議長を除く全員の議員で構成する令和2年度予算審査特別委員会を設置し、これに審査を付託したいと思いましたが、御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(木下 敏) 御異議なしと認めます。

よって、ただいま一括議題となっております7件の案件については、議長を除く全員の議員で構成する令和2年度予算審査特別委員会を設置し、これに審査を付託することに決定いたしました。

暫時休憩いたします。

直ちに委員会を開き、委員長及び副委員長の互選をお願いいたします。

午前10時20分 休憩

午前10時40分 再開

○議長(木下 敏) 休憩前に引き続き、再開いたします。

## 諸 般 の 報 告

○議長(木下 敏) この際、諸般の報告をいたします。

ただいま令和2年度予算審査特別委員会から委員長に中川友規議員、副委員長に横田有一議員を互選した旨の報告がありました。

この際、委員長就任の挨拶を求めます。副委員長も一緒をお願いいたします。

○14番(中川友規) ただいま、令和2年度予算審査特別委員会委員長を仰せつかりました中川友規でございます。また、副委員長にはベテラン議員でございます横田有一議員でございます。

今回は、新型コロナウイルスの影響もあり、予算審査特別委員会の日程も非常にタイトな日程となっております。皆様の御協力のもと、しっかり審査をして予算執行していけるように御協力よろしくをお願いいたします。(拍手)

○議長(木下 敏) 就任の挨拶を終わります。

## 休 会 の 議 決

○議長(木下 敏) この際、お諮りいたします。

令和2年度予算審査特別委員会の審査のため、3月19日から3月23日までの5日間は、休会といたしたいと思いますが、御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(木下 敏) 御異議なしと認めます。

よって、3月19日から3月23日までの5日間は、休会とすることに決定いたしました。

## 散 会 宣 告

○議長(木下 敏) 以上で、本日の日程は、全て終了いたしました。

本日は、これをもって散会いたします。

お疲れさまでした。

午前10時42分 散会

